

## 第 章 諸外国の消費構造

### 分析対象データ

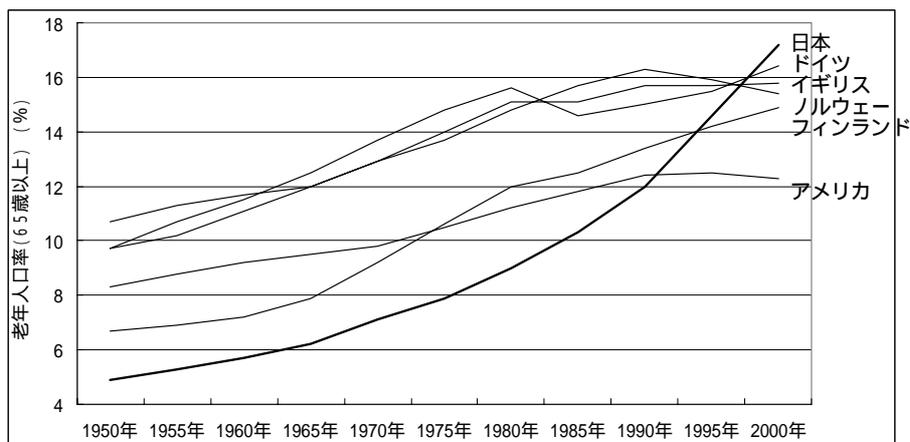
本章では、家計消費費目分類が同一で、各国間の比較が可能な OECD “National Accounts of OECD Countries” のデータを対象に分析する。(図表に資料名が記載されていないものは当データである)

# 1 分析対象国

本章では諸外国における消費構造に関して、GDP 上位国のアメリカ、イギリス、ドイツを対象として分析を行う。

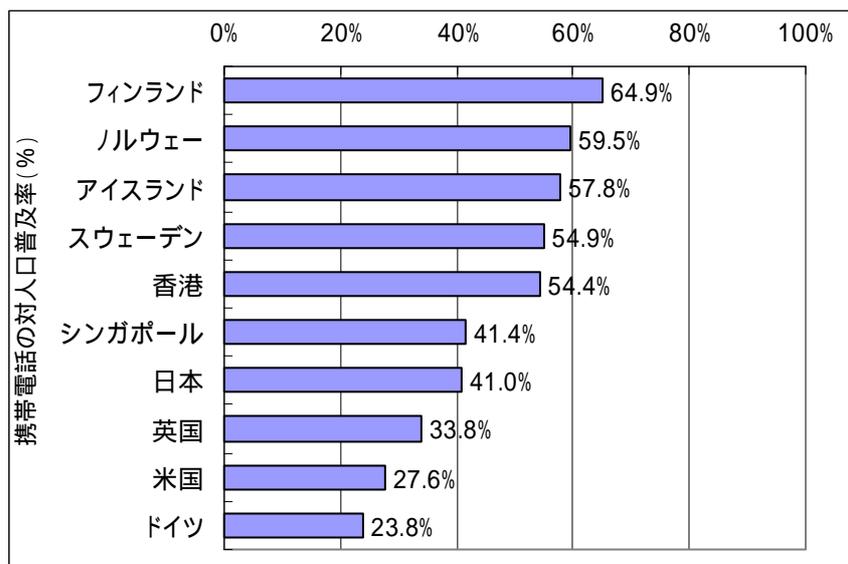
さらに、第 4 章で挙げたとおり、我が国の今後の消費構造に対しては高齢化が多大な影響を及ぼすことが明白であるため、世界的にも高齢者等を始めとした国民への福祉・医療制度が手厚い北欧諸国を取り上げる。なお、昨今の消費構造には IT 化も大きなインパクトを与えているが、携帯電話の普及率はフィンランドが世界 1 位、ノルウェーが世界 2 位と IT 先進国でもあるため、これら 2 国を取り上げて分析する。

図表: 全人口に占める老年人口率(65 歳以上)



資料 : World Population Prospects 2000 Volume 1  
Comprehensive Tables (UN)

図表: 主要国の携帯電話普及率(対人口普及率)



資料 : 総務省「情報通信白書」2001 年  
( 上位5カ国以外は、主要国を抜粋して列挙した)

## 2 各国における消費構造の変化

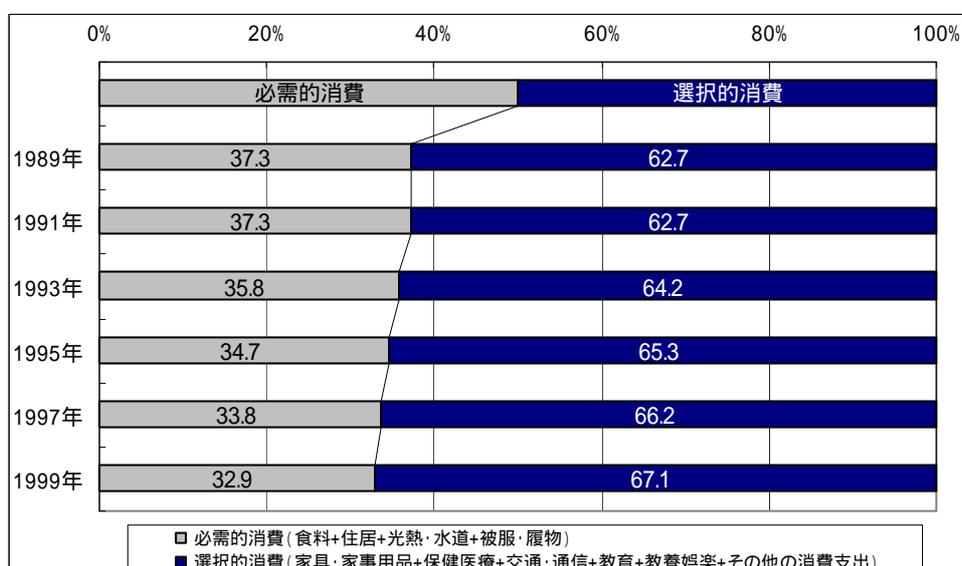
### 2.1 アメリカ

#### (1)マクロトレンド

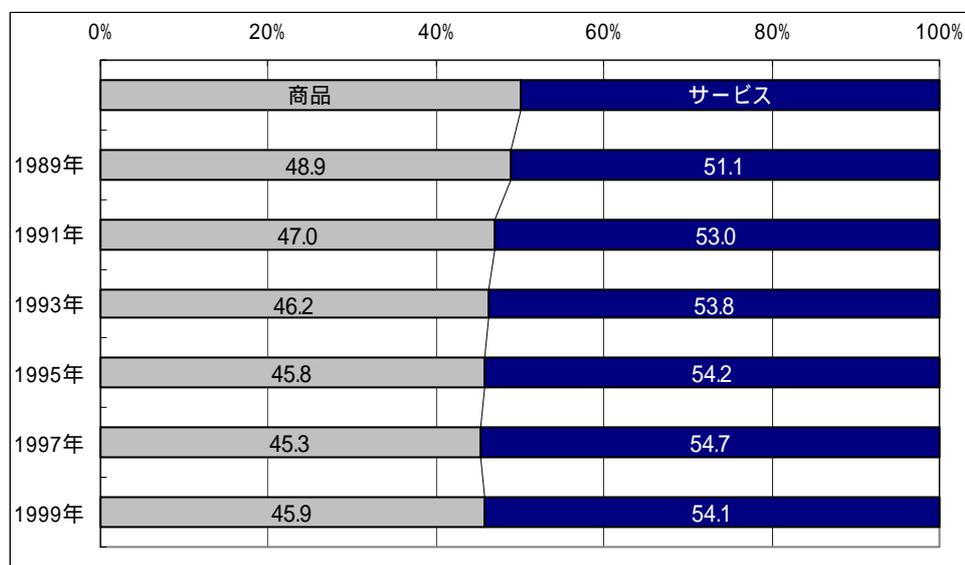
全消費支出額に占める必需的消費と選択的消費の構成比によって消費構造のマクロ的なトレンドを見ると、選択的消費の割合が年々上昇している。1991年以降は、選択的消費の割合が2年間で約1%ずつ増加している。

また、商品とサービス別の構成比では、1997年から1999年にかけてはサービス支出比率が若干低下しているが、中期的なスパンで判断するとここ約10年間においてはサービス化拡大のトレンドが見られる。なお、日本の消費構造と比べると極めてサービス消費比率が高いと言える。

図表: 「必需的消費」と「選択的消費」の消費支出構成比



図表: 「商品」と「サービス」の消費支出構成比

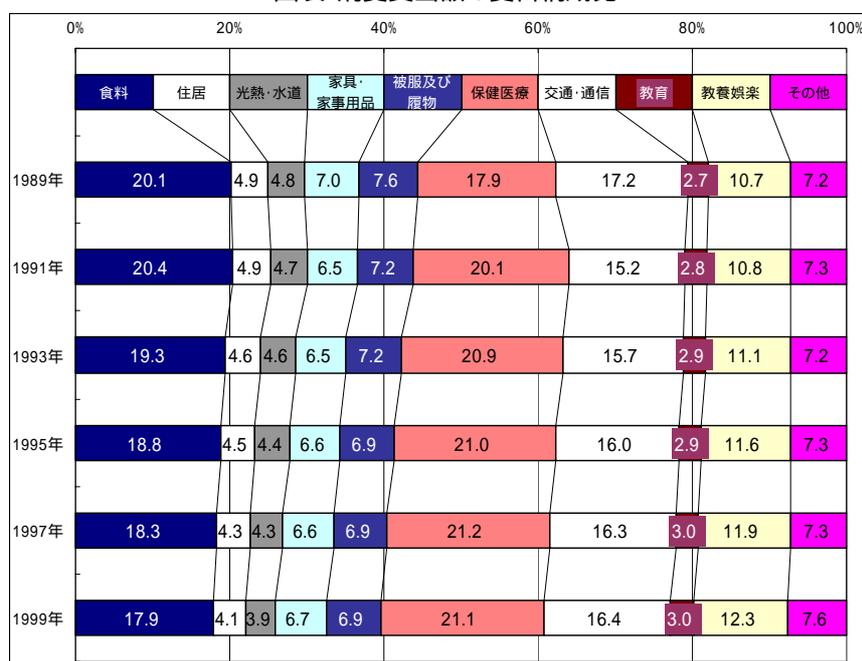


## (2) 費目別構成比の変化

全消費支出額に占める 10 分類費目の構成比の変化を見ると、必需的消費の「食料」「住居」「光熱・水道」「被服及び履物」は全て減少傾向にある。特に、そのなかかでも「食料」の減少幅が大きい。

その一方で選択的消費に含まれる費目では、「保健医療」「教養娯楽」が一貫して増加傾向にあり、保健医療はここ約 10 年で +3.2%、教養娯楽は +1.6% となっている。なお、次々頁のとおり教養娯楽は最近では物価水準が低下していることから、実質的にも消費規模が大きくなってきている。また、「交通・通信」の支出構成比は 1989 年から 1991 年にかけては減少しているが、IT が本格的に台頭し始めた 1990 年代は上昇し続けている。

図表:消費支出額の費目構成比



1989年から1999年までの全消費支出額の増加率は約70%であるが、これを上回って高い伸びを示している費目としては、まず「通信」「教養娯楽用品」「教養娯楽サービス」が挙げられる。また、「教育」「保健医療」は物価の上昇の影響がある程度含まれると見込まれるが、上昇幅が大きい。

一方、全消費支出額の増加率に比べて下回っているものとしては「食料」「住居」に含まれる費目が比較的多い。大分類の「食料」に含まれる費目のうち、「調理食品・外食」は比較的堅調であるが、中分類の「食料」「飲料」は伸びが低く、また、住居の「家賃・地代」「設備修繕・維持」も相対的に低い。

図表：消費費目の増加額・増加率

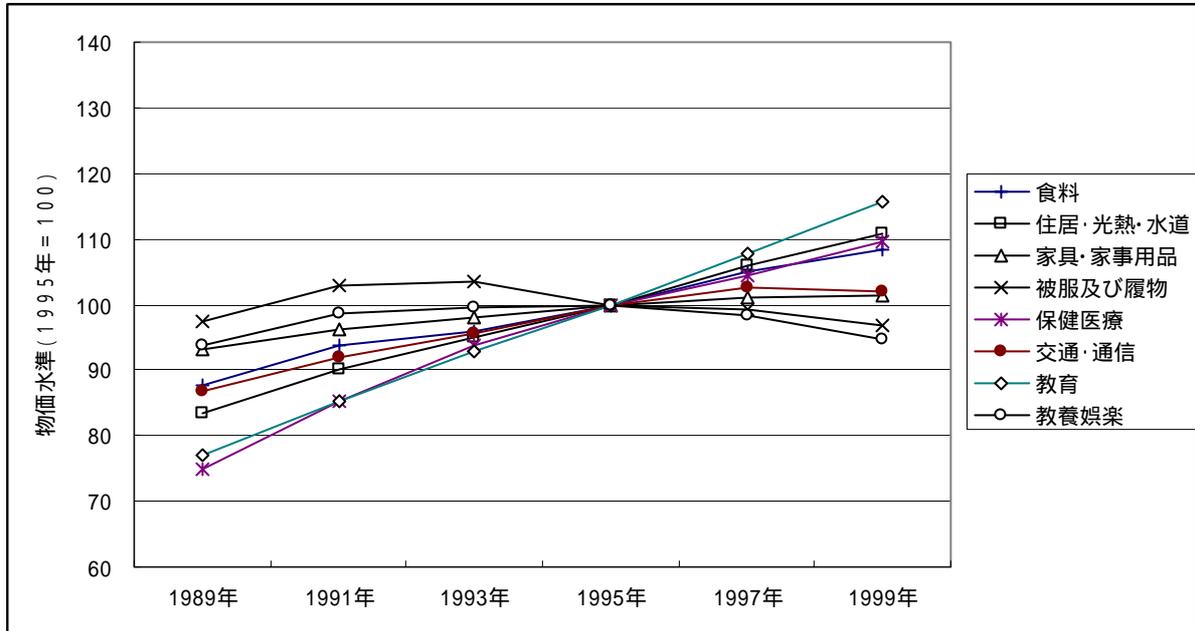
\*\*\* 全消費支出額の増加率より+20%高  
\*\*\* 全消費支出額の増加率より-20%低

10億ドル（全世界合計）

	支出額		増加額		増加率	
	1989年	1999年	1999年 - 1989年	1999年/1989年		
全消費支出額	2,893	4,922	2,029	70.1%		
食料	582	882	300	51.6%		
食料	275	382	108	39.1%		
飲料	46	65	19	42.4%		
酒類	45	69	24	54.3%		
調理食品・外食	217	366	149	68.7%		
住居	141	204	63	45.0%		
家賃・地代	139	201	62	44.8%		
設備修繕・維持	2	3	1	57.1%		
光熱・水道	138	190	52	37.3%		
水道料等	25	47	21	83.8%		
電気・ガス	113	143	30	26.9%		
家具・家事用品	203	331	128	62.9%		
家具、カーペット等	69	108	39	56.7%		
寝具類	26	44	18	68.3%		
家事用耐久財	24	35	11	44.4%		
家事用品（食卓・台所用品等）	17	32	15	86.0%		
室内装備（照明器具等）	12	21	9	80.9%		
家事用消耗品・サービス	56	92	36	65.2%		
被服及び履物	219	341	122	55.8%		
被服	188	298	110	58.2%		
履物	31	44	13	41.3%		
保健医療	517	1,038	521	100.7%		
保健医療品・器具	69	159	90	129.1%		
保健医療サービス（診療費）	209	427	218	104.0%		
保健医療サービス（入院費）	239	452	213	89.4%		
交通・通信	498	807	309	62.1%		
自動車等購入	183	276	93	50.8%		
自動車等維持費	215	350	135	62.6%		
公共交通費	35	51	16	45.7%		
通信	65	131	66	101.4%		
教育	78	149	71	91.9%		
教養娯楽	309	607	299	96.7%		
AV機器、カメラ、情報通信機器	61	111	49	80.3%		
他の教養娯楽耐久財	10	14	4	33.7%		
教養娯楽用品（文具・園芸・ペット用品等）	67	128	62	92.1%		
教養娯楽サービス	103	227	124	120.8%		
新聞・書籍	48	90	42	89.3%		
宿泊費	20	37	18	88.9%		
その他の消費支出	208	372	164	78.7%		
理美容サービス	51	86	35	68.6%		
身の回り用品	34	56	22	66.4%		
交際費	85	164	79	93.1%		
タバコ	39	66	27	71.0%		

< 参考 >

物価変動



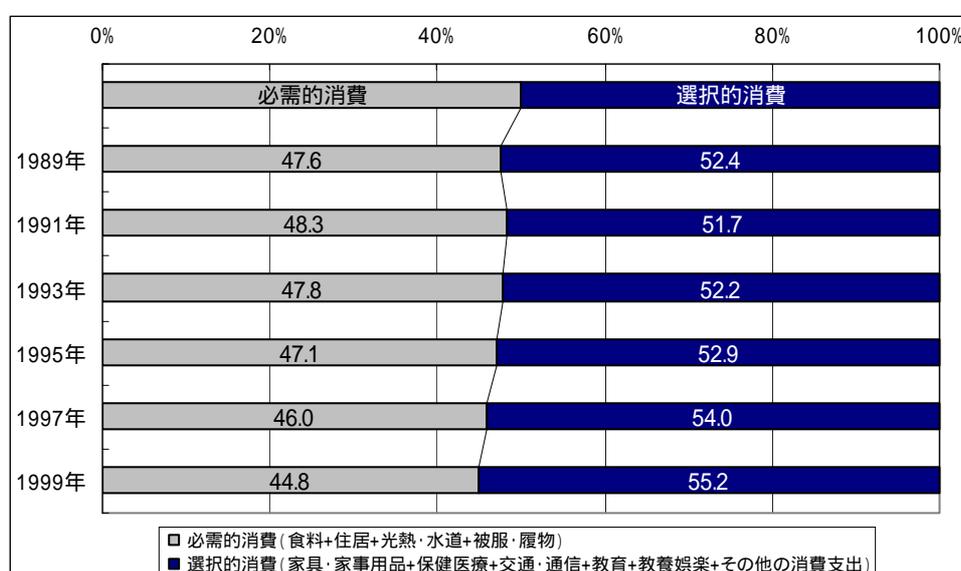
## 2.2 イギリス

### (1)マクロトレンド

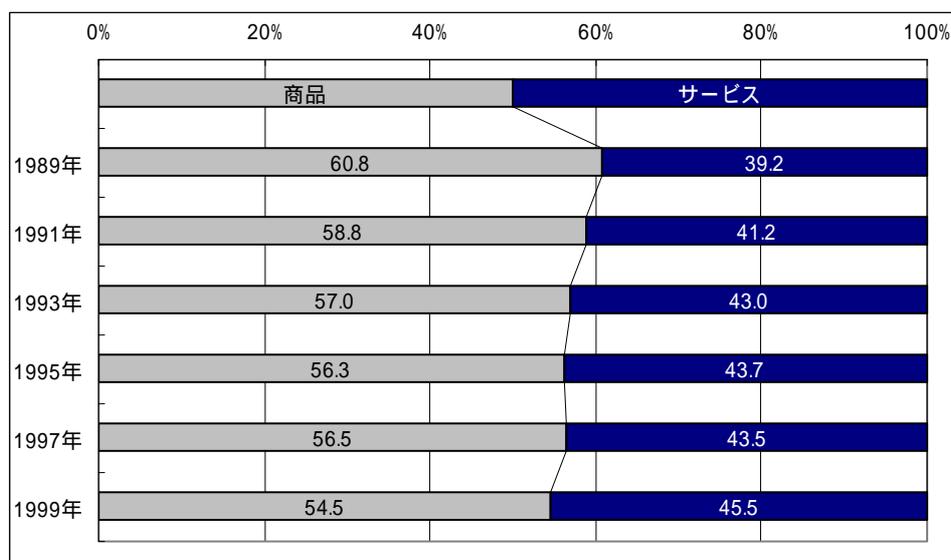
イギリスにおける全消費支出額に占める必需的消費と選択的消費の構成比は、1989年から1991年にかけては選択的消費が若干減少したが、その後は増加基調に転じている。1991年以降は、選択的消費の割合が、アメリカと同様に2年間で約1%ずつ増加している。

また、商品とサービスの消費比率を見ると、日本やアメリカと同様にサービス化が着実に進展している。1999年時点のサービス比率はアメリカよりは低いものの日本の大都市(1999年サービス比率：46.0%)とほぼ同率となっている。

図表:「必需的消費」と「選択的消費」の消費支出構成比



図表:「商品」と「サービス」の消費支出構成比

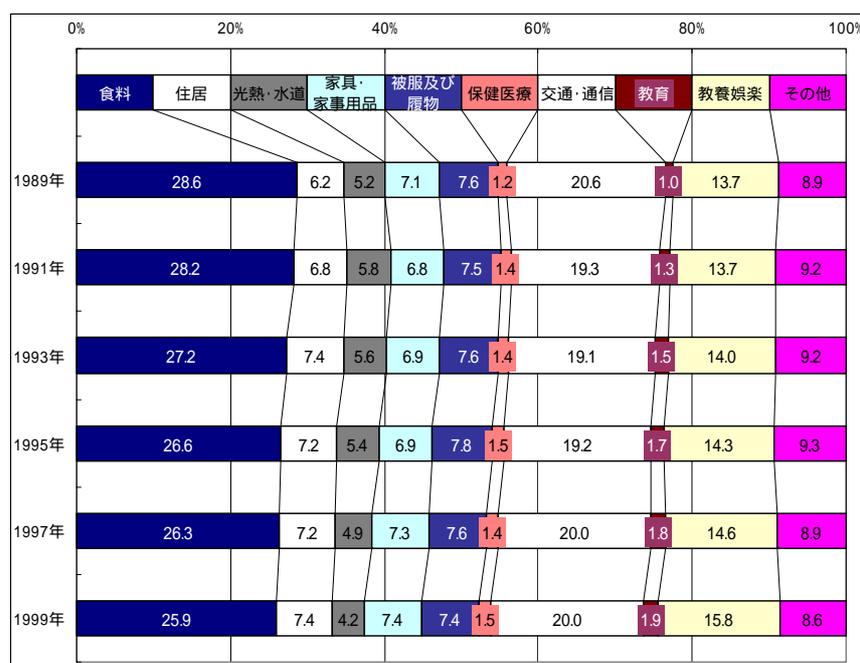


## (2) 費目別構成比の変化

1989年から1999年の間で構成比の変化が大きいものとしては、「食料」「教養娯楽」が挙げられる。

「食料」は一貫して減少傾向にあり、ここ約10年間でおよそ-2.7%、「教養娯楽」は+2.1%となっている。これ以外の費目に関しては、それほど大きな変化は見られない。

図表:消費支出額の費目構成比



1989年から1999年までの全消費支出額の増加率は約74%である。これを上回って高い伸びを示しているものは、アメリカと同様に「通信」や「教養娯楽用品」などの娯楽系費目である。また、「水道料」「公共交通費」「教育」等の公共系費目も上がっている。なお、「教育」に関しては次頁のとおり物価の上昇幅が極めて大きいため、これによる影響も含まれる。

反面、全消費支出額の増加率よりも低いのは、食料(大分類)に含まれる「食料」「飲料」や「履物」  
「タバコ」、耐久消費財の「家事用耐久財」「自動車等購入」などである。

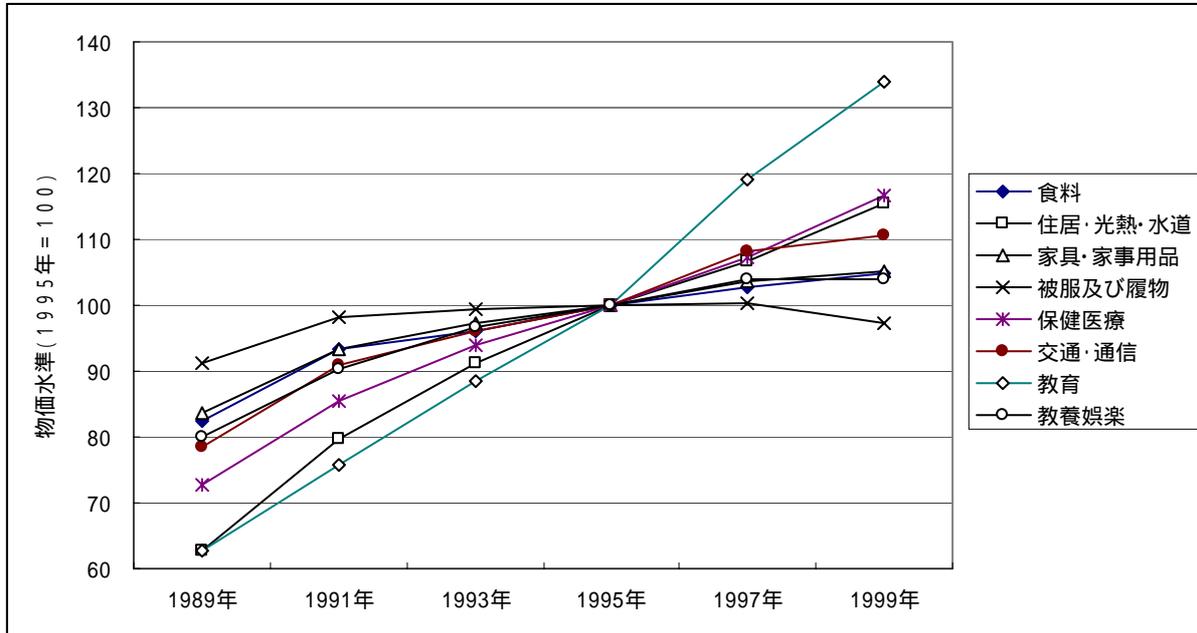
図表：消費費目の増加額・増加率

\*\*\* 全消費支出額の増加率より +20%高  
\*\*\* 全消費支出額の増加率より -20%低

100万英ポンド(全世界合計)				
	支出額		増加額	増加率
	1989年	1999年	1999年 - 1989年	1999年/1989年
全消費支出額	269,182	468,340	199,158	74.0%
食料	76,894	121,265	44,371	57.7%
食料	35,071	48,473	13,402	38.2%
飲料	4,072	6,205	2,133	52.4%
酒類	19,585	32,567	12,982	66.3%
調理食品・外食	18,166	34,020	15,854	87.3%
住居	16,711	34,555	17,844	106.8%
家賃・地代	9,396	23,189	13,793	146.8%
設備修繕・維持	7,315	11,366	4,051	55.4%
光熱・水道	14,098	19,568	5,470	38.8%
水道料等	2,697	6,135	3,438	127.5%
電気・ガス	11,401	13,433	2,032	17.8%
家具・家事用品	19,064	34,777	15,713	82.4%
家具、カーペット等	6,506	12,933	6,427	98.8%
寝具類	2,069	3,913	1,844	89.1%
家事用耐久財	5,021	7,513	2,492	49.6%
家事用品(食卓・台所用品等)	432	837	405	93.8%
室内装備(照明器具等)	1,027	1,741	714	69.5%
家事用消耗品・サービス	4,009	7,840	3,831	95.6%
被服及び履物	20,534	34,600	14,066	68.5%
被服	17,058	29,961	12,903	75.6%
履物	3,476	4,639	1,163	33.5%
保健医療	3,223	6,921	3,698	114.7%
保健医療品・器具	2,013	4,889	2,876	142.9%
保健医療サービス(診療費)	1,028	1,743	715	69.6%
保健医療サービス(入院費)	182	289	107	58.8%
交通・通信	55,445	93,600	38,155	68.8%
自動車等購入	22,385	28,529	6,144	27.4%
自動車等維持費	16,302	31,311	15,009	92.1%
公共交通費	10,865	21,409	10,544	97.0%
通信	5,893	12,351	6,458	109.6%
教育	2,620	8,723	6,103	232.9%
教養娯楽	36,770	73,889	37,119	100.9%
AV機器、カメラ、情報通信機器	6,061	11,537	5,476	90.3%
他の教養娯楽耐久財	2,266	5,634	3,368	148.6%
教養娯楽用品(文具・園芸・ペット用品等)	6,163	14,866	8,703	141.2%
教養娯楽サービス	11,214	21,733	10,519	93.8%
新聞・書籍	5,985	10,811	4,826	80.6%
パック旅行費	533	963	430	80.7%
宿泊費	4,548	8,345	3,797	83.5%
その他の消費支出	23,823	40,442	16,619	69.8%
理美容サービス	6,403	13,073	6,670	104.2%
身の回り用品	4,168	7,342	3,174	76.2%
交際費	5,082	7,972	2,890	56.9%
タバコ	8,170	12,055	3,885	47.6%

< 参考 >

物価変動

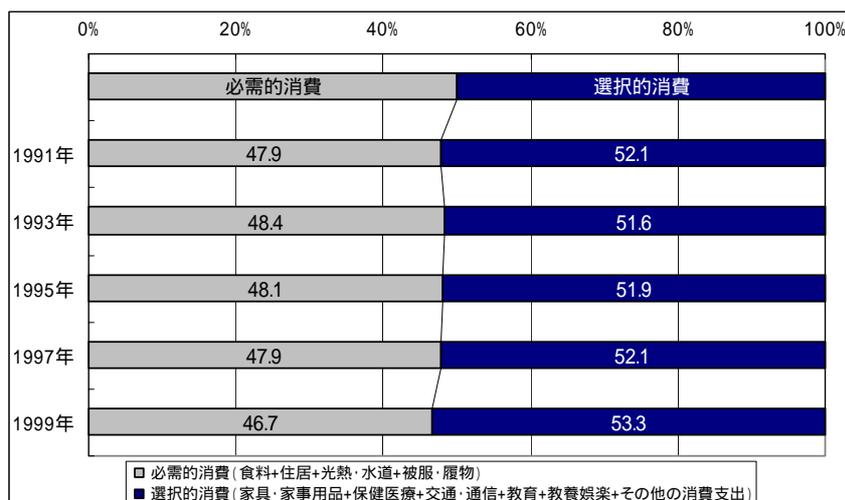


## 2.3 ドイツ

### (1)マクロトレンド

全消費支出額に占める必需的消費と選択的消費の構成比は、1991年から1989年にかけては必需的消費が上昇したが、その後は僅かながらであるが選択的消費が上昇に転じるというトレンドである。アメリカやイギリスと比較すると、必需的消費・選択的消費という側面からはそれほど大きな変化が見られない。(なお、商品・サービス別の消費比率に関するデータは不在)

図表:「必需的消費」と「選択的消費」の消費支出構成比



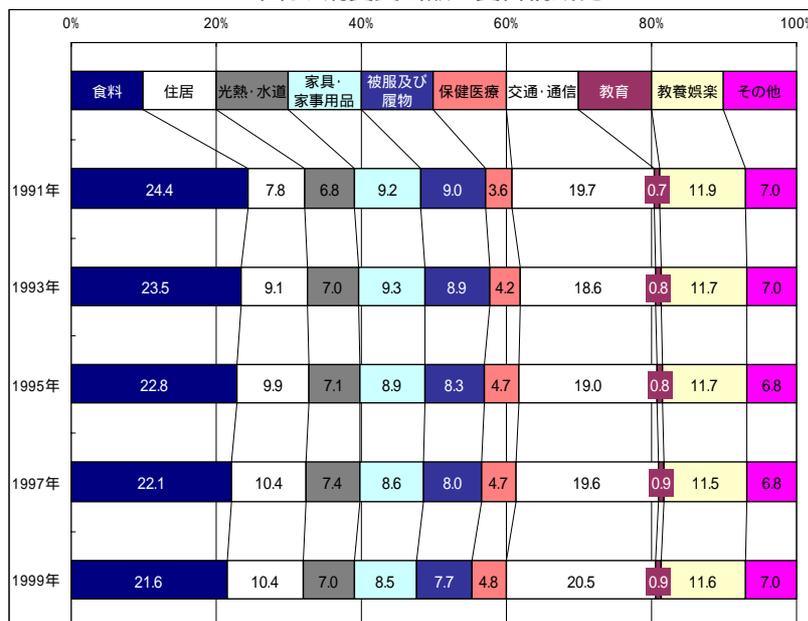
ドイツは1989年のデータが不在のため1991年からの掲載とした(以下、同様)

### (2)費目別構成比の変化

必需的消費・選択的消費という側面からは大きな変化が見られなかったが、10分類費目の構成比では構造的な変化が存在する。まず、「食料」「家具・家事用品」「被服及び履物」はほぼ一貫して減少しており、特に「食料」の減少幅が他の費目より非常に大きい。

一方、「住居」「保健医療」は増加し続けており、また1993年以降「交通・通信」も同様に増加傾向にある。

図表:消費支出額の費目構成比



1989年から1999年までの全消費支出額の増加率は約27%である。これ以上に伸びている費目としては、アメリカ、イギリスと同様に「通信」、そして「教育娯楽サービス」である。特に「通信」は約70%と非常に高い。また、「水道料等」「保健医療品・器具・サービス」「教育」といった公共的費目も上昇している。なお、「教育」「保健医療」「水道料等」の公共関連費目は、次頁のとおり物価の上昇幅が他費目より相対的に大きく、これによる効果が一部あるものと見込まれる。

一方、「寝具類」「家事用耐久財」「AV機器、カメラ、情報通信機器」などの耐久消費財は伸びが低い。

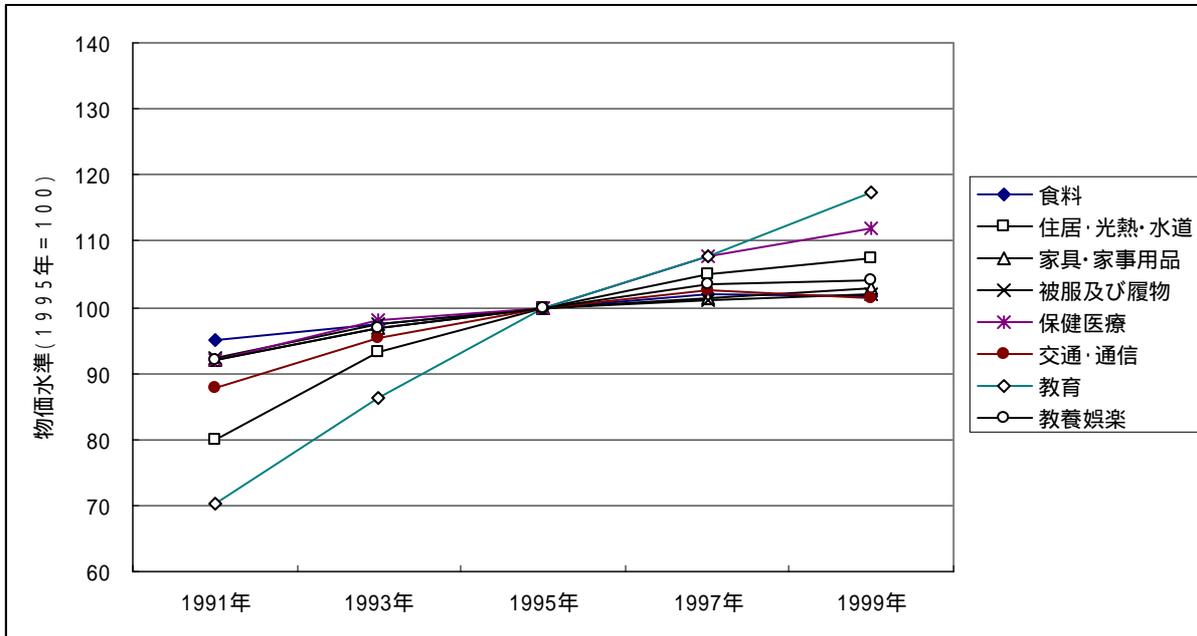
図表：消費費目の増加額・増加率

\*\*\* 全消費支出額の増加率より+20%高  
\*\*\* 全消費支出額の増加率より-20%低

100万独マルク（全世帯合計）				
	支出額		増加額	増加率
	1991年	1999年	1999年 - 1991年	1999年/1991年
全消費支出額	1,410,030	1,791,710	381,680	27.1%
食料	343,510	386,250	42,740	12.4%
食料	202,850	223,560	20,710	10.2%
飲料	21,430	26,380	4,950	23.1%
酒類	35,240	41,800	6,560	18.6%
調理食品・外食	83,990	94,510	10,520	12.5%
住居	110,250	187,050	76,800	69.7%
家賃・地代	98,820	173,700	74,880	75.8%
設備修繕・維持	11,430	13,350	1,920	16.8%
光熱・水道	95,620	126,200	30,580	32.0%
水道料等	26,820	50,350	23,530	87.7%
電気・ガス	68,800	75,850	7,050	10.2%
家具・家事用品	129,710	152,080	22,370	17.2%
家具、カーペット等	58,650	69,880	11,230	19.1%
寝具類	10,800	11,330	530	4.9%
家事用耐久財	19,500	20,760	1,260	6.5%
家事用品（食卓・台所用品等）	15,570	18,210	2,640	17.0%
室内装備（照明器具等）	7,350	8,420	1,070	14.6%
家事用消耗品・サービス	17,840	23,480	5,640	31.6%
被服及び履物	126,220	137,420	11,200	8.9%
被服	109,490	117,880	8,390	7.7%
履物	16,730	19,540	2,810	16.8%
保健医療	50,620	85,740	35,120	69.4%
保健医療品・器具	19,100	29,990	10,890	57.0%
保健医療サービス（診療費）	17,080	31,280	14,200	83.1%
保健医療サービス（入院費）	14,440	24,470	10,030	69.5%
交通・通信	277,490	367,480	89,990	32.4%
自動車等購入	109,600	131,760	22,160	20.2%
自動車等維持費	109,350	147,370	38,020	34.8%
公共交通費	29,940	39,590	9,650	32.2%
通信	28,600	48,760	20,160	70.5%
教育	9,820	15,520	5,700	58.0%
教養娯楽	167,830	207,770	39,940	23.8%
AV機器、カメラ、情報通信機器	35,840	32,270	-3,570	-10.0%
他の教養娯楽耐久財	4,000	4,750	750	18.8%
教養娯楽用品（文具・園芸・ペット用品等）	30,670	34,920	4,250	13.9%
教養娯楽サービス	43,310	64,670	21,360	49.3%
新聞・書籍	33,570	43,180	9,610	28.6%
パック旅行費	12,030	17,590	5,560	46.2%
宿泊費	8,410	10,390	1,980	23.5%
その他の消費支出	98,960	126,200	27,240	27.5%
理美容サービス	33,180	46,050	12,870	38.8%
身の回り用品	23,500	25,050	1,550	6.6%
交際費	8,940	13,880	4,940	55.3%
タバコ	33,340	41,220	7,880	23.6%

< 参考 >

物価変動

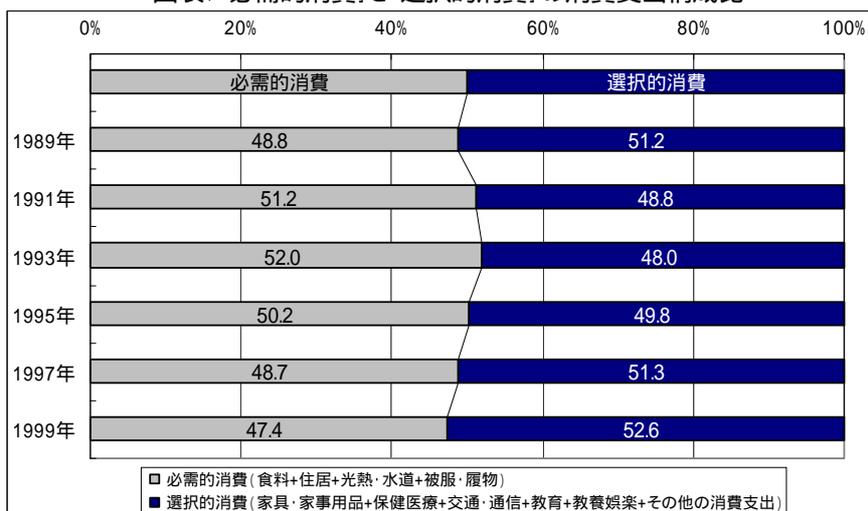


## 2.4 フィンランド

### (1)マクロトレンド

全消費支出額に占める必需的消費と選択的消費の構成比は、1989年から1993年にかけては必需的消費が増加傾向にあったが、それ以後は選択的消費の増加基調が続いている。1993年以降は選択的消費が2年間で約1~2%ずつ上昇するトレンドとなっている。(商品・サービス別の消費比率に関するデータは不在)

図表:「必需的消費」と「選択的消費」の消費支出構成比

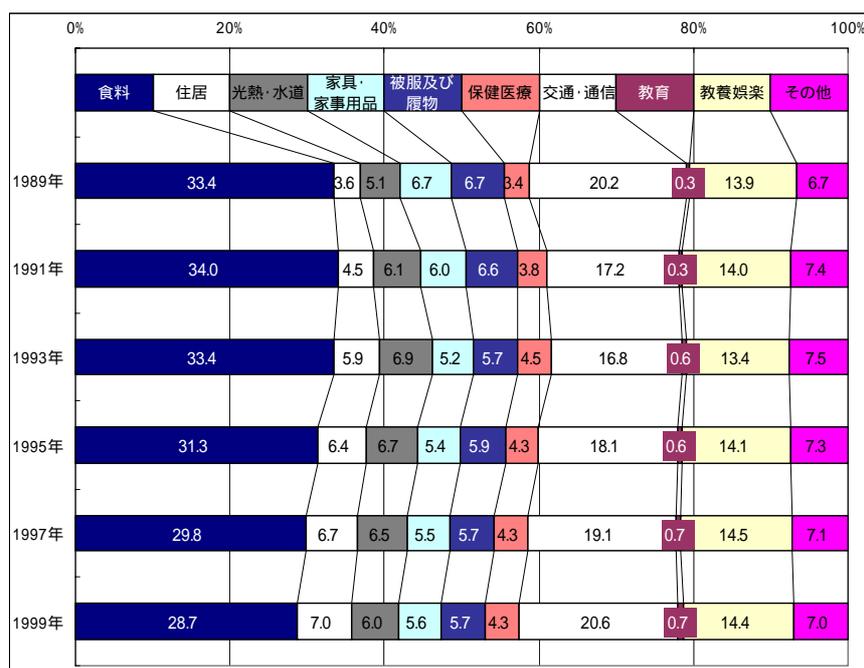


### (2)費目別構成比の変化

全消費支出額に占める10分類費目の構成比で変化が比較的大きい費目としては、「食料」「住居」「交通・通信」が挙げられる。

「食料」はここ約10年間に於いて約5%低下しているが、「住居」は約2倍近く増加している。「交通・通信」に関しては1993年を底として、それ以後は一貫して増加し続けている。

図表:消費支出額の費目構成比



1989年から1999年までの全消費支出額の増加率は約37%である。

これを上回って高い伸びを示している費目としては、アメリカ等と同様に「通信」や「教養娯楽用品・サービス」が挙げられる。とりわけ、携帯電話普及率が世界第1位という状況は、「通信」支出額が約186%と極めて突出した上昇率であることから裏付けられる。また、「住居」、「保健医療」は各費目とも大きく伸びている。なお、「住居」、「保健医療」は次頁のとおり物価が上昇しているため、これによる増加効果も一部含まれていると見込まれる。

一方、「家具・家事用品」、「被服及び履物」に含まれる費目等は軒並み上昇率が低い。

図表：消費費目の増加額・増加率

\*\*\* 全消費支出額の増加率より+20%高  
\*\*\* 全消費支出額の増加率より-20%低

		100万マルク（全世界合計）			
		支出額		増加額	増加率
		1989年	1999年	1999年 - 1989年	1999年 / 1989年
全消費支出額		206,579	283,903	77,324	37.4%
食料	食料	68,948	81,425	12,477	18.1%
	飲料	3,504	4,603	1,099	31.4%
	酒類	10,714	13,444	2,730	25.5%
	調理食品・外食	17,011	22,667	5,656	33.2%
	住居	7,392	19,927	12,535	169.6%
住居	家賃・地代	7,342	19,837	12,495	170.2%
	設備修繕・維持	50	90	40	80.0%
光熱・水道		10,496	17,169	6,673	63.6%
	水道料等	1,999	3,895	1,896	94.8%
	電気・ガス	8,497	13,274	4,777	56.2%
家具・家事用品		13,840	15,958	2,118	15.3%
	家具、カーペット等	5,726	5,974	248	4.3%
	寝具類	1,499	1,611	112	7.5%
	家事用耐久財	2,821	2,992	171	6.1%
	家事用品（食卓・台所用品等）	1,170	1,390	220	18.8%
	室内装備（照明器具等）	999	1,408	409	40.9%
	家事用消耗品・サービス	1,625	2,583	958	59.0%
	被服及び履物	13,935	16,103	2,168	15.6%
被服及び履物	被服	11,747	13,614	1,867	15.9%
	履物	2,188	2,489	301	13.8%
	保健医療	6,928	12,341	5,413	78.1%
	保健医療用品・器具	3,147	6,187	3,040	96.6%
保健医療	保健医療サービス（診療費）	2,573	4,216	1,643	63.9%
	保健医療サービス（入院費）	1,208	1,938	730	60.4%
	交通・通信	41,812	58,457	16,645	39.8%
交通・通信	自動車等購入	18,104	18,642	538	3.0%
	自動車等維持費	14,739	21,642	6,903	46.8%
	公共交通費	5,642	8,668	3,026	53.6%
	通信	3,327	9,505	6,178	185.7%
	教育	662	1,891	1,229	185.6%
教養娯楽		28,664	40,824	12,160	42.4%
	AV機器、カメラ、情報通信機器	4,275	5,945	1,670	39.1%
	他の教養娯楽耐久財	1,816	2,121	305	16.8%
	教養娯楽用品（文具・園芸・ペット用品等）	3,790	5,972	2,182	57.6%
	教養娯楽サービス	7,761	13,375	5,614	72.3%
	新聞・書籍	5,517	7,247	1,730	31.4%
	バック旅行費	4,142	4,227	85	2.1%
	宿泊費	1,363	1,937	574	42.1%
	その他の消費支出	13,902	19,808	5,906	42.5%
その他の消費支出	理美容サービス	4,469	6,677	2,208	49.4%
	身の回り用品	1,682	2,134	452	26.9%
	交際費	2,513	4,716	2,203	87.7%
	タバコ	5,238	6,281	1,043	19.9%

< 参考 >

物価変動

